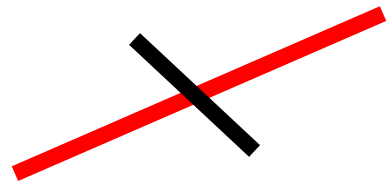


ひろさき生活・仕事応援センター

ひろさき生活・仕事応援センター 通信

令和4年度 第1号



株式会社

小林紙工

社員が楽しく仕事をする環境とは？
プラス思考！小林紙工！

社員は会社をどう思っているのか？

社員の心持ちを変える！

今回の通信は、昨年12月に開催した就労準備セミナー「HAPPYトーク楽しい環境は作れる！」と題して、講師に株式会社 小林紙工 代表取締役 久保良太氏をお迎えし、働いている方の仕事に対する不安、人間関係の悩み、前職の離職理由など参加者の方の気持ちに向き合い、自分でできる楽しい環境づくりについてセミナーを行いました。セミナー後半では作業体験も行い、楽しく作業することを参加された方と考えました。

ネガティブな話題をみんなで共有し、どう受け止め変えていくのか、自分の捉え方で仕事楽しくなる。働くこと、仕事を楽しく捉える考え方、行動のヒントなどから、社員との関係作り、離職しない職場環境を目指すために会社はどうすればいいのか、さまざまな取り組みを行っている小林紙工の久保氏にその後お話を伺いました。

「社員へ匿名アンケートをやってみよう！」

キッカケはコロナ禍の影響で需要が高まった食品容器の販売に社員へ意見を求めたことだった。しかし、積極的な意見、納得できる意見も出ず、うまくいかない。社員とのコミュニケーションの中で、社員は会社をどう思っているのか、もし社員が本音を言いつらいと感じていたら、活発な意見交換や、働きやすい環境作りは可能なのか。そこで、社員の気持ちを知るため、匿名アンケートを約2年間実施した。

悩みの大半は人間関係

1on1 ミーティングで向き合う

「職場での悩みは人間関係が大半」

匿名のアンケートを実施した結果、悩みの大半は人間関係だった。あの人の仕事振りが良くない、もっとこうした方がいいのではないかと意見もあった。久保氏は多くの人が人間関係に悩みを我慢している現実があり、我慢しているうちに限界を超え、会社を辞めてしまうのではないかと危機感をもった。

「コミュニケーション不足による些細なことのすれ違い」

匿名で実施したアンケートだが、字の雰囲気でなんとなく悩んでいる社員がわかる。そこで久保氏は社員と1対1の面談を行い、人間関係に不和がある双方の考えや悩みを聞く。じっくり聞いていくとコミュニケーション不足による些細なすれ違いがあった。コミュニケーションもどちらかが一方的に伝えたり、我慢するのではなく、双方が自分の考え

社員が本音で話せる会社づくり

社員の本音を受け止め、変える

「本音を話せる環境とは」

久保氏は第一に「聞く姿勢、雰囲気」が重要と考えている。自分から言えないことは誰にでもある。「困ったことがあったら言ってね」と伝えてもなかなか言ってくれない。あとになって

「そんなことを思っていたの？」と知ることがある。

今、社員たちは、仕事が楽しいのか、辛いと思いつ仕事をしているのか。

久保氏は出来る限り楽しい気持ちで仕事をする社員を増やしていきたいと考えている。

進んで仕事をやりたいと思ってもらえるように、まずコミュニケーションがとりやすい環境づくりを行う。業績を伸ばすには、仕事が楽しいと思えること、自らが社員と仲間になることが大切と思っている。

「社員と交換日記のはじまり」

社員に自己啓発など勉強してほしいと考え、毎月テーマを決め、おすすめの記事をピックアップし、社員の考え、感想を書いてもらっていた。最初は記事に対する感想は一行だったが、回数を重ねると徐々に社員の今思っていることが多く書かれはじめた。面と向かって言えないことも書いてなら伝えることができる、久保氏と社員との交換日記がはじまった。

言えないことや我慢していることを口に出すのは難しい。書くことで伝えることができれば、次は対面で伝えることができずかもしれない。多くの社員が働く職場で、自分の思いを伝えやすい環境はひとつではないと考え、様々な手法で、社員とコミュニケーションをとっている。

次回 9月下旬発行！

【社員とのコミュニケーション！！楽しく仕事をしてもらうには？】